

二〇一二年 五月（訂正版）

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

## 今月の言葉

あんのん

世の中安穩なれ 仏法ひろまれ

ぶつぽう

## 『親鸞聖人御消息』

しんらんしょうにんごししょうせき

賢い人が集まる家か、愚かな人が集まる家か、争いが少ないのはどちらだと思いますか。賢い人が集まる家！と答えたいところですが、少し考えてみたいと思います。

賢い人たちは正しいことを知っており、ややもすれば自分のことを正しいと思ひ込みます。そんな人たちが集まれば、だれが一番正しいかを争うことになりかねません。正しくありたいと思うことは結構なことですが、実は「正しさ」こそ、争いの原因だともいえるのです。

一方、愚かな人たちの家では、それぞれが愚かで間違うことがあると自覚しています。むやみに正しさを主張することはないので、逆に争いが起こりにくいのです。

この言葉をおっしゃった親鸞聖人は、自分のことを「愚禿」（愚かなはげ）と名乗られています。仏法に照らされた自己は愚かな人間でしかないという自覚に立たれたのです。

「国家」から「家庭」までさまざまな世の中（社会）がありますが、どれも一人の人間によって構成されています。世の中の安穩は万人が願うところではありませんが、各人の「愚」の自覚なしには、その願いは実現されたいではないでしょうか。

聖人が往生されて七五〇年。「世の中安穩なれ」というのは本願寺が掲げた七五〇回大遠忌のスローガンです。今月の宗祖降誕会に今一度、聖人のお心に触れて頂ければと思います。

※安穩…心静かに落ち着いていること。また、そのさま。平穩無事。

## 今月の言葉

明るい人はすばらしい 悩んでいる人は尊い

はやし ぼやう  
林 暁 宇

「なぜ私は何をやってもうまくいかないのだろう」

勉強もダメ。クラブ活動もダメ。おまけに友達ともうまく付き合えない。悩みを誰にも話したくないし、聞いてくれる人もいない。そんな時、孤独な気持ちになります。暗い人と思われるのが嫌で、明るくふるまおうとしても、どこか空元気。

しかし悩んでいるそのあなた。悩んでいるということは、あなたが真剣に自分に向きあっている証拠。すぐに悩みを解決する方法が見つからなくても、いいじゃないですか。あせらずにじっくり悩み抜くのも大事なことです。

真剣に悩むあなたの姿は、暗いのではなく、尊いのです。